

**平成31年度（上期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 健康福祉 部 保健医療推進室 健康政策 課 901

1. 基本情報

施設名	阪神北広域こども急病センター		
施設の設置目的	休日及び夜間において、伊丹市、宝塚市、川西市及び猪名川町の小児の患者に対して応急の診療を行う。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： 支え合いの心でつくる安全・安心のまち 施策目標： 健康で安心して暮らせる地域保健・医療 主要施策： 安心できる地域の医療サービス		
指定管理者の名称	公益財団法人 阪神北広域救急医療財団 （団体の住所又は所在地） 伊丹市昆陽池 2-10		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 令和 5 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 （管理運営の指定管理者の具体的目標）	指標名	年間受診割合 （単位： % ）	
	指標の意味	こども急病センター診療時間の同センター及び3市1町の市町域内の公立医療機関（小児科）の全受診者（一次医療）に占める同センターの受診割合	
	今年度の目標値	90	上期の実績値 94

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H27	H28	H29	H30	H31（上期）	H31（通期）
	受診者数（人）	-	26,954	25,573	25,648	24,397	11,508	
電話相談件数（件）	-	15,214	14,727	14,817	13,515	7,239		

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

		平成29年度（2017）	平成30年度（2018）	平成31年度（2019）計画	平成31年度（2019）実績（上期）
収入	使用料収入	0	0	0	0
	事業収入	326,356	345,250	323,858	162,759
	その他	28,074	20,772	22,339	8,921
	指定管理委託料	83,446	63,791	137,148	82,599
	①合計	437,876	429,813	483,345	254,279
支出	維持管理				
	光熱水費	0	0	0	0
	清掃等委託料	0	0	0	0
	土地建物賃料	0	0	0	0
	修繕料	0	0	0	0
	運営				
	人件費	325,555	318,740	351,575	152,508
事業等経費	0	0	0	0	
その他	112,321	111,073	131,770	49,194	
指定管理納付金	0	0	0	0	
②合計	437,876	429,813	483,345	201,702	
純収支（①-②）		0	0	0	52,577

		H26	H27	H28	H29	H30	H31（上期）
施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ 〈単位:千円〉	市の収入	100,997	101,711	95,441	122,080	132,343	54,605
	（内、使用料収入）	0	0	0	0	0	0
	市の支出	121,246	160,780	111,014	144,342	156,995	88,563
	（内、指定管理委託料）	107,043	106,754	100,548	115,708	125,597	82,599
	実質経費（歳出-歳入）	20,249	59,069	15,573	22,262	24,652	33,958

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理 体制等 に関する 事項	維持管理業務 の実施状況	館内の清掃を定期的に実施し、常に清潔に保たれているか。	B	毎日の日常清掃に加え、年4回ワックス掛け等の定期清掃を行っている。施設設備の保守点検は仕様書に基づき適切に行っているが、開設から10年が経過していることから、室外機の部品交換など経年劣化による修繕が発生している。大規模な修繕計画等については市と協議していく。備品台帳は毎年5月に市へ提出している。環境に配慮し、LEDへの交換を進めている。	B	管内の衛生面・安全面に常に配慮し、定期的に施設の点検・確認を行い、備品等も適切に管理している。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	A		A	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	A		A	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		A	
職員配置などの 実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	職員研修はOJTを中心に、外部の研修にも適宜参加し、資質向上を図っている。防火管理者等の職員配置については法令を遵守し、適正に配置している。	B	通常の研修だけでなく、職員のスキルアップのための研修を実施している。	
	職員研修は、計画どおり実施しているか。	A		A		
	防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B		
防災・防災対策への 取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	緊急連絡簿を適宜更新している。消防法に基づき8月に消防訓練を実施した。	B	消防訓練も適切に行われており、緊急時の連絡体制を整備し日頃から備えている。	
	避難訓練を実施しているか。	B		B		
運営等 に関する 項目	サービス向上への 取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	待合フロアやホームページで常に利用者の意見を投稿できるようにしている。苦情、トラブルには迅速に対応し、全職員で情報を共有した。	A	利用者からの意見に耳を傾け、より良い事業展開に繋げるよう努力している。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		A	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A		A	
事業等の 実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	事業は計画通り実施している。看護師ミニ講座やニュースレターなどを通じて、センターの適正利用を促すよう取り組んだ。GWが例年よりも長期になったが、スタッフの安定確保に努め、適切な診療を行った。	A	効率的に事業展開を実施している。	
	施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A		
個人情報保護・ 情報公開への 取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	各種申請書類等は文書分類表に基づき適切に保管。個人情報の取扱いには十分配慮している。利用者情報などの電子データは専用のサーバーで管理している。ホームページによる情報発信は適宜行っている。	B	個人情報については、適切に管理されており、情報公開や広報活動も努力している。	
	利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B		
	ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		A		
収支の 状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	A	人員配置の見直しなど経費削減に努めるとともに、会計士による会計監査を受け、適切な経理処理を行っている。	A	会計士による監査を受け、適切に処理している。	
	経理処理は、適切に行っているか。	B		B		

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	夜間や休日の小児の急病時に、一次救急医療を提供することにより、子育て支援や安心できる地域の医療に寄与している。また、看護師ミニ講座など魅力ある事業実施も積極的に実施しており、高く評価する。
総合評価	A

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】 令和元年9月3日～令和元年9月17日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	利用者からはおおむね満足度の高い回答ではあったが、電話相談の電話がつながりにくい状況や診療時間についての意見があった。	電話相談については対応する看護師の配置が難しく、1回線のみで運用しているため話中になることが多くご迷惑をおかけしている。電話相談でよくある質問をQ&A形式でホームページに掲載しているため、こちらを参照してもらえようニュースレターなどでPRを行っていく。診療時間については、急病センターの特性上、他の病院に勤務する医師の応援に頼らねばならないため、延長することは難しい。緊急時には救急要請が必要になるが、啓発活動を通して家庭での対処法や受診タイミングの見分け方などを伝え、時間内の受診をお願いしていく。
回答者数	401	(詳細は別添参照)

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置